



ご挨拶

本日は 'A-Winds 23' 夏の演奏会にお越し下さり誠にありがとうございます。「こころ豊かな文化の香り高き町:大和郡山市」のお城の麓“やまと郡山城ホール”で、皆様方とこうしてお逢いすることができましたことに、A-Winds 一同心より感謝しております。

1999年10月の発足と同時に活動を始めて以来、1999年秋の“デビュー演奏会”を始めとする、四季折々に開催する我々 A-Winds 奈良アマチュアウィンドオーケストラの定期演奏会も、お陰様で21回目を迎えることができました。

これもひとえに、我々 A-Winds の活動、そして音楽をこよなく愛して下さった皆様方のご支援、ご指導の賜物と、団を代表しまして心より厚く御礼申し上げます。

吹奏楽のオリジナル作品を中心に取り上げることを活動方針に掲げ、作曲家の方々を実際に練習にお招きして、ご自身の作品の生い立ちや、楽曲の紐解き解説を聞きながら合奏指導を受けたりと、様々な啓蒙にも取り組み活動してまいりました。

この歴史の一頁を刻むべく、日本で最も注目を集める新進気鋭の作曲家“高昌帥”さんに吹奏楽作品を委嘱させていただき、ダイナミック且つ優美に。。。春の“記念演奏会”で初めて取り上げたこの作品を、本日この舞台上に井村誠貴氏の情熱のタクトで、皆様に披露いたします。

この作品を始め、我々の奏でる演奏が、いつまでも皆様の心の中で鳴り響き続ける音楽でありますよう、これからも精一杯心のこもった音楽活動を続けたいと思います。今後とも、温かいご指導、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

楽器より手と口笛で腕自慢♪

今日は、少し違った楽器も登場します。一緒に演奏にご参加いただいて、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

A-Winds 奈良アマチュアウィンドオーケストラ 団長 魚谷昌克

*

本日はお忙しい中ご来場頂きまして、誠にありがとうございます。

今回の演奏会はいつもと少し趣向を変えて、第一部ではお客様が一度は耳にされたことのある曲やノリの良い曲を中心に、観客の皆様と演奏者が一緒に楽しめるステージを、そして第二部にはオペラやミュージカル、オーケストラ等の指揮でご活躍されている、指揮者の井村誠貴氏をお招きして吹奏楽の魅力を最大限に表現できるオリジナル曲を中心に重厚なステージをお送りします。全く違うステージですので、観客の皆様には二つの演奏会を同時に楽しめたという、ちょっとお得な気持ちになっただけならば幸いです。

あと、実行委員長の私が打楽器パートである為、打楽器の活躍する箇所が少し多くなっております。いつも脇役の打楽器パートが主役になる場面が多数ありますので、舞台の後ろの方にも注目してお聴きください。全く違った二つの舞台を、どうぞ最後までごゆっくりお聴きください。

最後に本公演開催にあたり、各方面より多大なるご支援を賜りましたことを、演奏会実行委員を代表して厚くお礼申し上げます。

“A-Winds 23”2006年 夏の演奏会 実行委員長 板垣麻子



ご案内

“A-Winds 22”2006年 秋の演奏会

2006年11月5日(日) 14:00開演

吹奏楽オリジナルのクラシック曲を、特にアメリカ人作曲家の作品に注目してお届けします。吹奏楽の本場アメリカにおける初期の作品から昨年亡くなられたA.リードの作品まで、懐かしいメロディーを聴いていただけたらと思います。皆様のご来場をお待ち申し上げております。

“A-Winds 22”2006年 秋の演奏会 実行委員長 島田博一



A-Winds 奈良アマチュアウィンドオーケストラ

Piccolo	佐藤 由加里♪	Trumpet	大西 伸幸 表 恭子 吉川 茂宏◇ 魚谷 昌克 篠木 章江 山本 洋介♪ 亀田 さゆり☆
Flute	佐藤 司 魚谷 陽子	Trombone	萱原 淳嘉 楠 純子 岡田 卓也 小泉 文浩
Oboe	松本 紘子 篠藤 文子☆	Euphonium	大西 善郎 忠澤 直美♪
E♭ Clarinet	長尾 恭子	Tuba	平野 幸子 吉田 新司 室安 望美
B♭ Clarinet	畑澤 淳子 辻 美保 青山 洋美 竹村 明恵 森本 幸恵 栗原 茂美 大江 奈々 和田 麻佑♪	String Bass	佐藤 良一☆
Alto Clarinet	大西 晴己	Percussion	平井 晶 荒井 智子 板垣 麻子♪ 辻 歩 久保 寛美 川本 理恵 豊川 史香♪
Bass Clarinet	大嶋 康子☆	Piano	八木 真木
Bassoon	萱原 美華子 満江 孝文	Conductor	魚谷 昌克 佐藤 司
Alto Saxophone	島田 博一 田中 香菜絵♪	☆エキストラ	
Tenor Saxophone	初岡 和樹	◇休団	
Baritone Saxophone	鹿野 麗子	♪2006年夏の演奏会実行委員	
Horn	小川 貴子 久野 耕三 次田 哲平◇ 小林 計昭 池原 裕子		



A-Winds メンバー募集

●募集パート

- ・フルート／1名・オーボエ（イングリッシュ・ホルン）／1名
 - ・B♭クラリネット／1名・バス・クラリネット／1名・トロンボーン／1名
 - ・コントラ・バス／2名
- まずは、お問い合わせ下さい！

- A-Windsの活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
 - ご自分で楽器を準備できる方
 - 全ての活動に賛同頂ける方
 - 18歳以上の方
- 問い合わせは先<e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp



2006年6月4日(日) 14:00開演
やまと郡山城ホール大ホール

主催●A-Winds 奈良アマチュアウィンドオーケストラ
後援●大和郡山市 大和郡山市教育委員会 奈良県吹奏楽連盟



プログラム

◇第1部◇ 指揮者:魚谷昌克

Dancing and Drumming ダンシング・アンド・ドラミング

作曲者:T. スアトー/Tylman Susato
編曲者:I. パートフ/Irwin Bertoff
出版社:Studio Music Company

“Twinkle, Twinkle Little Star” Variations for Wind Ensemble (Revised Edition)

キラキラ星変奏曲(改訂版)

作曲者:天野 正道/Masamich Amano
出版社:Brain Concert Repertoire Collections

Funiculi-Funicula Rhapsody

フニクリ・フニクラ狂詩曲

作曲者:L. デンツァ/Luigi Denza
編曲者:後藤 洋/Yo Goto
出版社:Brain Concert Repertoire Collections

CLOUDBURST

クラウドバースト

作曲者:E. ウィッテカー/Eric Whitacre
出版社:Carpe Ranam Productions

◇第2部◇ 指揮者:井村誠貴(客演)

A Chapter for Wind Orchestra

吹奏楽のための一章

作曲者:堀内 俊男/Toshio Horiuchi
出版社:All Japan Band Association

A Winds 20 記念演奏会委嘱作品

Mindscape for Wind Orchestra

吹奏楽のためのマインドスケープ

作曲者:高 昌帥/Chang Su Koh
出版社:未出版

Music in the Air!

ミュージック・イン・ジ・エアー!

作曲者:A. リード/Alfred Reed
出版社:Myrica Music Inc.

Methuselah II for Percussion and Symphonic Band

メトセラII 打楽器群と吹奏楽のために

作曲者:田中 賢/Masaru Tanaka
出版社:Sound・M



曲目解説

(文・板垣 麻子)

■キラキラ星変奏曲:「きらきらひかる お空の星よ・・・」という歌詞で知られる「きらきら星」。もともと18世紀に流行したパリのシャンソンが元ネタだとか。

そのモチーフは"Ah, vous didai-je, Mamman"(ああお母さん、聞いて!)という娘の恋心を母に吐露する内容で、星への願いというよりは恋の歌なのですね。

そのメロディーは様々な国の作詞家が歌詞をつけ、世界中で親しまれる楽曲となりました。英語の歌詞は「Twinkle, twinkle, little star」日本では日本語歌詞

の他にアルファベットを覚えるための「ABCの歌」のメロディーにも使われています。あの有名なモーツァルトもこれをテーマにして変奏曲をつくりました。この『ああ、マ

マにいうわ』による変奏曲』を題材として作曲されたのが今回演奏するキラキラ星変奏曲です。吹奏楽のバンドの特性、音色を繊細に生かしたオーケストレーション

となっていて、冒頭は鍵盤楽器によるオルゴール風の主題で始まり、変奏部分では各楽器に平易なパートソロが現れる、大変美しい作品です。

■フニクリ・フニクラ狂詩曲:「フニクリフニクラ～・・・」この歌も日本でたいへんポピュラーな曲です。1961年にNHKの「みんなの歌」で紹介されたのがきっかけで日本で有名になりました。「トラのパンツ」や「グリとグラ」など幼稚園や保育園

でのお遊戯の替え歌としてもよく知られています。以下は「NHK・みんなの歌」として紹介されたフニクリ・フニクラの歌詞です。

赤い火をふくあの山へ 登ろう 登ろう
そこは地獄の釜の中 のぞこう のぞこう
登山電車ができたので 誰でも 登れる
流れる煙は招くよ みんなを みんなを
いこう いこう 火の山へ いこう いこう火の山へ
フニクリフニクラ フニクリフニクラ 誰も乗る フニクリフニクラ

「フニクリフニクラ」の意味はイタリア語の「フニコレ」をもじっていて、「フニコレ」は「ケーブルカー」とか「ロープウェイ」という意味なので「でんでん電車」と言ったような言葉遊びです。この歌詞も火山の登山列車の楽しい様子を表しています。

しかし、もともとはカンツォーネで一人のある男性がナンニーナという名の女性に捧げる愛の歌です。以下は原詩です。わかりやすい内容の後半を掲載します。

ナンニーナ 登山電車は上に登り 私の頭もそして着いた
何度も登り 下り いつもここにいる
私の頭はまわる おまえの回りに
私の心はいつも歌っている ナンニーナ結婚しよう
いこう いこう 火の山へ フニクリフニクラ フニクリフニクラ
いこう いこう 火の山 フニクリフニクラ

全くニュアンスが違って面白いですね。今回は吹奏楽バージョンに編曲されたゴージャスで楽しいフニクリフニクラを、思う存分お楽しみください。

■クラウドバースト:作曲家のエリック・ウィッテカーは1970年ネバダ州リノ生まれ、アメリカを中心に世界中で活躍する現在35歳の若手作曲家です。情景描写の達人と呼ばれ、世界中で最も注目されている作曲家の一人です。代表作には、「ゴーストトレイン」、「ラスベガスを食い尽くすゴジラ」などがあります。題名を聞いた

ただだけで情景が浮かぶようですね。今回演奏する「クラウドバースト」とは「どしゃぶりの雨」という意味で、まさにどしゃ降りの雨が今にも降ってきそうな様子が見事に表現された曲です。冒頭は演奏者による神秘的なコーラスから始まります。ワイン

グラスやハンドベルの音色、稲光を模したバズドラムのが音色など曲中に効果的に使われ自然界の不思議な世界が広がっていきます。そして最後は観客の皆さ

んの協力があってこの曲は完成されます。舞台と客席と一体となった音楽空間が神秘的に広がるウィッテカーの見事な演出作品です。

■吹奏楽のためのマインドスケープ:関西を中心として日本中で活躍が著しい作曲家の高昌帥氏に*A Winds*のために作曲して頂いた委嘱作品です。「*A Winds* 20

2006年 春の演奏会」で初演しました。曲はパーカッションによる幻想的な序奏と、複雑なリズム構成と、激しく訴えかけてくる性格をもつ1部、寡黙なまでに静的で、

たゆたうように歌う2部からなります。共通のモチーフによってコインの表裏のように分かち難く結び合わされています。今回は指揮者の井村誠貴氏の新しい解釈で演奏される前回とは違った「Mindscape」をお楽しみください。

■ミュージック・イン・ジ・エアー:この曲は2000年の夏、偉大な作曲家A. リードが大阪の毎日放送から放送テーマ音楽の作曲を依頼され、同年11月1日に大阪市を訪れて市内が一望できる超高層ビルの展望台に立ち、大阪の放送に相応しい曲のイメージ作りをして完成した曲です。2001年4月からテレビ放送開始

時並びに終了時に毎日放送テーマ音楽として放送されています。皆さんもよく耳にされている曲ではないでしょうか。

■メトセラII:この作品の原曲となる「メトセラ」は、1988年ヤマハ吹奏楽団の定期演奏会のために作曲されたもので、演奏会のテーマであった“響く燈火、輝き”から考えられた曲です。“メトセラ”の意味は聖書に出てくるノア洪水直前の族長の

名前で、969歳まで生きたと伝えられる長命者の事です。作曲者は、このタイトルの由来や曲の構成について次のように言及しています。『作曲の依頼があった時、

すでに私のうちには吹奏楽と打楽器群を組み合わせた曲の構想がありましたので即座にお引き受けしました。その構想というのは、作品の中心に相反する二つの

要素を置き、両者の異なりより生ずる異質性から音楽を導き出したいというものでしたが、さらにこの構想に“輝く燈火、輝き”というテーマがく燈火＝光×輝き＝星

×光＝スピード×星＝宇宙×宇宙＝スピード＝相対性理論」というような形でイメージを与えてくれました。そこで必然的に《メトセラ》が現れてきたわけです。曲の

構成は、中間に打楽器群の独奏部分を置き、前に現代の語法で書かれた部分、後ろにグレゴリア聖歌をテーマとした調性で書かれた部分が配置されています。これは、現代と過去という異なる時限をあらわしています。同時に、調性と無調とい

う歴史的にも重要な二つの大切な音楽の表現手段も並存しています。この他にパトス(理知的)とエトス(感情的、激情的)に代表される、相反する精神の象徴として

打楽器群と木管、金管群は放置されています。』と作曲者が解説しています。現在出版され、入手できる楽譜は前述のように作曲された原曲を縮小して再編された「メトセラII」です。

(委嘱者:ヤマハ吹奏楽団浜松、初演:1988年 森田利明指揮、ヤマハ吹奏楽団浜松)



プロフィール

■井村誠貴

大阪生まれ。大阪音楽大学コントラバス科卒業。オペラ指揮者としての活動が著しく、レパートリーも50演目を超える。オペラの主要作品の他にも喜歌劇や邦人作品の初演にも力を注いでいる。管弦楽ではエウフォニカ管弦楽団を中心に音楽鑑賞会を定期的に行う一方、名古屋フィルハーモニー管弦楽団など客演指揮。01

年にはイタリア留学を果たし02年に帰国。現地ではAs.Li.Coの公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。指揮を湯浅勇治、塩田明弘の各氏に師事。喜歌劇楽友協会、オーケストラMFI指揮者。